



# 花祭の風景



「花祭」は現在、東栄町11ヶ所、豊根村3ヶ所、設楽町1ヶ所で行われています。毎年11月から翌年3月にかけて開催されます。

鬼が舞い、人々が舞う。  
神と人が融合する時……  
祭りの原点がここにある。

世界無形文化遺産の保護のための条約がユネスコ総会で採択され、平成18年4月に条約が発効しました。私たちは、地域の宝である「花祭」が、この世界遺産に登録されることを願って、今回のフェスティバルを企画しました。



神々を迎える儀式からはじまり、約40種の舞の奉納、神々を送る儀式へと夜を徹して開催される盛大なお祭りです。



山間に響き渡る「テホヘ テホヘ」の掛け声と笛と太鼓の音に導かれ、夜を徹して人々が鬼となって舞います。

子どもたちが稚児の姿で、若者が色鮮やかな法被姿で、観ている客人も一体となって舞います。



明け方、舞庭の中心に置かれていた湯釜の湯をかけ合う「湯ばやし」は、厳しい山村に暮らす人々が互いの無病息災・長寿健康を祈願するものです。湯釜の湯は、前日の朝、村の滝から汲んできた水を注いだものです。



人々は昔、自然のなかで自然の厳しさと豊かさとともに、助け合い支えあいながら生きてきました。そうした暮らしを支え、人々のつながりを守る絆が「花祭」でした。花祭を世界無形文化遺産に登録することは、人々がそうした暮らしを見直し継承する活動でもあります。

こうした祭はほんの数十年前まで日本の各地に残っていました。しかし今、こうした祭はそうした暮らしとともに消えようとしています。



花祭サポーター設立準備会は、花祭の応援団を設立するため、愛知大学、愛知県交流居住センター、NPO法人ボランティアネイバースが発起人となって作りました。一緒に花祭を応援する「花祭サポーター」を募集しています。みなさんもぜひご参加ください。

「花祭」フェスティバル in 名古屋  
参加申込書

11/29(土) 締切

花祭サポーター設立準備会事務局 (NPO法人ボランティアネイバース)  
名古屋市東区東桜2-18-3-702  
TEL 052-979-6446 FAX : 052-979-6448  
E-mail : vns@npo-jp.net URL : http://www.vns.or.jp/

お名前

電話

fax

E-mail

所属又は職業